研　修　班　だ　よ　り　Ｎｏ．４

■主体的な学びについて～キャリア教育の視点から～

１．はじめに

「主体的な学び」とは学ぶことに興味・関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習につなげるということです。（中央教育審議会の答申より）

２．キャリア形成？

本荘高校はキャリア教育実践のモデル校になっています。
今年度の本校のテーマは
２１世紀を生き抜く力のエッセンスである「確かな学力」と「キャリアプランニング能力」を育むキャリア教育の充実です。このキャリアプランニング能力とは意思決定能力と関連し「自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する力」をいいます。そして本校のキャリア教育の目標には「生涯学び続ける態度の育成」とあります。授業を始めとする学校生活全般に渡り、このような力を身につけるための指導が求められます。

３．キャリア教育の必要性

子供達が育つ社会環境の変化に加え、産業・経済の構造的変化、雇用の多様化、流動化により子供達の将来のとらえ方に大きな変化をもたらされています。自分で意思決定できない、自己肯定感を持てない、将来に希望を持つことができないといった子供の増加や身体的には早熟傾向であるが、精神的社会的発達が遅れがちであると指摘があります。

とどまることなく変化する社会の中で子供達が希望を持って自立的に未来を切り拓いていくことが求められます。そのために日常の教育活動では、学ぶことの楽しさ学びへの挑戦をとおして未経験の体験に挑戦する勇気と価値を体得させ、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤を作ることができると考えます。このように社会人として自立していくことができるようにする教育が求められています。

４．キャリアとは

Careerの語源はラテン語の車道を起源とし英語では競馬場や競技場のコースやトラックを意味するもので、そこから人がたどる足跡、経歴、遍歴を意味するようになりました。２０世紀後半変革期を迎え、キャリアは働くこととのかかわりを通して個人の体験としての生き様を指すようになりました。キャリア教育のいうキャリアとは人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で自らの役割の価値や自分の役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねを意味します。　（文科省ホームページ「キャリア教育とは何か」）